

QDレーザなど決勝へ

米国発のモノづくりス
タートアップコンテスト
の日本予選「モノづくり
ハードウェアカップ2017」
がグランフロント



大阪(大阪市北区)で開か
れた。出場8社のうち、4
月に米ピッツバーグ市で
開催される決勝への進出
チーム3社が決定した。
発表・質疑応答は
英語で行われ、来
場した海外の投資
家などに技術をア
ピールした。
優勝チームは、
フレームに内蔵し
たレーザードプロジ
ェクターから網膜
4月に米で開かれ
る決勝進出チーム
が決定

米モノづくり起業コンテスト

大阪で予選、投資家ら注目

に直接画像を投影するメガネ型のウェアラブル機器を開発したQDレーザ(川崎市川崎区)。技術の新規性や小型・軽量化してユニバーサルデザインを実現した点などを評価した。審査委員長を務めた、米国インキュベーション組織の客員経営者であるジェフリー・マックタニエル氏は「英語での発表は海外の投資家などに訴える大きな一歩だ。日本のモノづくりの土壌を活用して成長を」とエールを送った。同コンテストの日本予選は初開催。投資家、研究者、学生など延べ500人以上が来場した。